



的確な診療で患者の痛みを 取り除く脊椎治療の専門医

本間信吾名誉院長

ほんましんご／1971年北大医学部卒業。北大医学部整形外科医局入局。79年アイオワ大学留学（脊椎ペイオネカニクス）。80年市立札幌病院整形外科部長を経て、2009年桑園整形外科副院長に就任。11年医療法人くわのみ会名誉院長に就任。日本整形外科学会認定医。日本リウマチ登録医。日本整形外科学会脊椎・脊髄認定医。



医療法人社団くわのみ会

桑園整形外科

札幌市中央区北8条西16丁目
☎011-633-3636
<http://www.dr-azuma.net>



駐車場完備、JR桑園駅から徒歩5分と利便性も高い

「自覚症状の程度は患者さんによって異なります。痛みの頻度や強さを的確に判断しながら治療方法を決定します」と話す。

市立札幌病院での勤務時代からを含めると、5000例以上の脊椎手術の実績を持つ。「現在でも年間100例以上の手術をおこな

2011年10月に桑園整形外科の名誉院長に就任した本間信吾医師は、30年以上にわたり、数多くの脊椎疾患や腰痛の治療に携わってきた専門医だ。

「切らない保存治療」を基本方針に、患者1人ひとりにあわせて体に負担のかからない治療を実践している。まず患者との対話を重視し、家族や職場などの生活環境をヒアリ

椎管が狭くなり神経を圧迫し、痛みを発生させる原因に

「患者さんの痛みを把握し、一緒に共有することで初めて原因と治療方法が解明できるのです」と精神面からのケアを図る医療本来の治療形態を重視する。老若男女を問わず人類の8割が経験すると言われる腰痛の原因は、生活環境やストレス、姿勢のゆがみなどさまざまだ。

「腰部椎管狭窄症」だ。神経の通り道である椎管が狭くなり神経を圧迫、歩くと下肢に痛みやしびれが起こり、休むと軽減されるのが主な症状。運動療法や神経ブロック療法、生活指導などの保存療法を中心に治療をおこない、痛みが残ってしまう場合のみ手術を勧めている。狭くなった椎管を手術によって拡張させ、神経の圧迫を防ぎ痛みを解消する。

「人は、体に痛みがあると落ち込み不安になります。精神的な弱みや思い込みが、症状をさらに悪化させるのです。不安を取り除く事が、治療の第一歩と考えます」と続ける。優れた執刀技術を持ちながらも、それに頼らない診断力でも「患者本位」の治療を提供する。また、優れた治療技術を伝えるべく、他院の整形外科医への技術指導も積極的におこなっている。